

県内取組事例

事業者：旭建設 株式会社（所在地：日向市）
資本金：8,000万円 業種：建設業 従業員数：73名

事業名：DXルームによる情報共有事業

IoT



大型ビジョンモニター・IWBを活用することで、現場との情報共有改革による生産性向上を図る。
また、全現場監視による安全性向上・進捗状況確認や、技術的指導を行う。

【概要】

- ・ 県内初！DXルームによる情報共有システムの構築。
- ・ 全工事を一つの工事として一元管理することにより生産性を向上。
- ・ 安全管理体制の拡充による安全性の向上。

【主な取組】

- ・ 本社DXルームに大型ビジョンモニターとIWBを設置。
- ・ 各現場のIWBや360°高感度カメラにより現場情報を全社で共有する。

【事業の目標】

（定量目標）

- ・ (情報セキュリティ対策(SEcurity ACTION宣言)について)
「SECURITY ACTION」二つ星を取得済 (2022年1月)
- ・ (労働生産性について)※前年度比
1年目102.4%、2年目101.1%、3年目102%

【取組を行う背景】

- ・ 本社と各現場の距離が遠く、情報共有に時間がかかっている。
- ・ 進捗状況においてもタイムリーな現場状況の詳細把握ができない。

【効果（成果）】

- ・ 効果① DXルーム活用による情報共有の効率化（30%の削減）
- ・ 効果② 本社監視体制により安全性が向上。
- ・ 効果③ 遠隔現場でも視覚的判断により技術的指導が可能となった。

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- ・ 情報共有活性化による業務効率化を優先。
- ・ 安全管理体制の拡充による安全性の向上。
- ・ DXルームから遠隔現場を監視し、技術的指導を視覚的判断にて行い、工期短縮と品質強化を図る。
- ・ 次のフェーズでは自然災害等の緊急事態における対応体制の向上、各現場交流・勉強会、顧客接点の抜本的改革を目指す



本社 大型ビジョンモニター



本社 IWB（インタラクティブホワイトボード）